

平成30年度 国庫補助金 重要文化財美術工芸品
福井県一乗谷朝倉氏遺跡出土品 保存修理事業概要

【事業目的】

“一乗谷朝倉氏遺跡出土品”には、土の中に長い年月埋もれていた間に腐食や劣化が進行し、非常に脆く形を保つことが困難なものが数多くあります。本事業では、これらの出土品について、腐食・劣化の原因となる要因を取り除いたり、合成樹脂を含浸して強化したりすることによって、公開・活用しやすくすることを目的としています。

また、出土品を納める保管箱を製作することで、温湿度管理や運搬時の安定性の向上を図っています。

【全体の事業期間】

第1期保存修理事業：平成20年度～平成33年度

第2期保存修理事業：平成34年度～

【事業体制】

本事業は、高度な技術と豊富な経験などを持っている専門業者に保存修理を委託しています。なお、修理作業の各工程において、文化庁と緊密に協議を行いながら慎重に進めています。

【本年度総事業費および補助金額、収入先明細】

総事業費：5,953,260円

補助金額：2,976,000円（国庫補助）

【本年度修理内容の概要】

本年度は、鍵じょうまえ、錠前かすがい（※1）、錠びょう（※2）、鉾びょう（※3）などの金属製品26件の保存修理および保管箱の製作を実施しています。



※1：戸や扉に取り付けて鍵で開閉できるようにする金具

※2：2つの木材をつなぎ止めるために打ち込む「コ」の字形の釘

※3：頭が丸く大きい釘

【過年度の修理成果】：鉄鍋

※平成28年度保存修理事業

修理前



修理前の鉄鍋は、もとの形がわからないほどに分割されていました。また、鉄鍋の表面には泥土が残っている状況でした。



修理後



鉄鍋の表面をクリーニングしたのちに、サビの原因となる塩化物を除去し、合成樹脂を含浸させて強化しました。その後、可能な限り破片同士を接合しました。



公開・活用



保存修理を終えた出土品は、常設展や特別公開展で展示しています。



本事業は、文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。
Supported by the Agency for Cultural Affairs. Government of Japan in the fiscal 2018